



喜多方市

【教育目標】健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成

令和4年度
学校だより
第21号

豊かっ子

喜多方市立豊川小学校
令和5年1月30日(月)
発行責任者
校長 佐々木 豊

◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子

避難訓練を行いました ～ 自分の命は自分で守る ～

1月27日(金)に避難訓練を行いました。今年度2回目の避難訓練です。冬の積雪時における正しい避難の方法を学ぶために行いました。

今回は、大きな地震のため近隣の民家から火災が発生し学校に燃え移る可能性があるという想定で行いました。積雪のある寒い時期であること、時間に余裕のある『近隣火災』であることから、少し時間がかかりますが、教室で防寒着を身に付け、昇降口で外履きに履き替えて避難しました。「避難開始」の放送指示で、すべての児童が4分ほどで第1避難場所の校庭まで避難できました。防寒着を着たり、外履きに履き替えたりしたにもかかわらず、素早い避難ができたと思います。

残念だったのは、校庭へ避難するときに「おしゃべり」が見られたことです。雪の上を走って逃げる避難だったので、少し楽しくなって浮かれてしまったのかもしれません。校庭で行った全体会では、次の2つを子ども達に話しました。

- ① 避難訓練で一番大切なのは「真剣さ」です。
- ② 正しい避難の行動「おかしも」(おさない・かけない・しゃべらない・もどらない)の中で特に大事なものは「しゃべらない」です。普段から放送や先生の呼びかけがあったら、おしゃべりをしないでしっかり話を聞きましょう。

災害が起きたとき「今何が起きているのか正しい情報を早くつかむこと」ができたかどうかが生死を分けることもあります。正しい情報を知るのが遅れたり、情報が正しくなかったりしたのでは、素早い避難や正しい避難ができないからです。これからも自分の命は自分で守ることができるよう、子ども達を指導していきたいと思います。

火災はいつどこで起きるかわかりません。ご家庭でも火災が起きた時はどのように避難するか、ぜひご家族みんなで話し合われてはいかがでしょうか。



雪の校庭を走って避難



「全体会」しっかりと話が聞けました

熟議「子ども達が『自分が夢中になれること』を見つけるにはどうしたらよいか」

1月26日（木）に学校運営協議会を行いました。
今回は学校運営協議会委員の皆様と豊川小の職員で
「熟議」を行いました。「熟議」とは、「『熟慮』と『議論』を重ねながら課題解決を目指す対話」のことです。



今回の「熟議」は、「子ども達が『自分が夢中になれること』を見つけるにはどうしたらよいか」をテーマに行いました。これは学校運営協議会の

地域とともに目指す子ども像
『地域の人と関わりながら、夢中になれることに挑戦する子ども』

から設定しました。

「熟議」は5つのグループに分かれて行いました。どのグループでも熱心な話し合いが行われ、いろいろなアイデアや意見が出されました。最後に各グループ代表から話し合った内容を紹介していただき、各グループのアイデアをみんなで共有しました。

今回出されたアイデアを今後の教育活動に反映し、「地域とともに目指す子ども像」に少しでも近づけるようにしたいと思います。

～「熟議」で出た『自分が夢中になれること』を見つけるためのアイデア紹介～
ぜひご家庭でも、次のようなことをお子様に行ってみてください。

- いろいろな体験をさせる（特に「本物に触れる体験」や「感動体験」）
- 視野を広げさせる（ニュース、新聞、本、親の話など）
- 親のサポートや後押し（チャレンジさせる、すすめる、はげます、ほめるなど）

★★★★★ そもそも、なぜ子ども達に「夢中になれること」に挑戦させたいの？ ★★★★★

これからの豊川地区と子ども達の将来を考えたからです。

- 少子高齢化により、2040年には全国約1800市町村中896が消滅するおそれがある。
- 子ども達の65%は、将来今は存在していない職業に就く（約47%の仕事が自動化される）。

豊川地区も少子高齢化で、近い将来「消滅」に近い状態になるかもしれません。また、変化が激しく予測困難な未来であっても、子ども達には主体的に生きてほしいと願っています。

この2つの問題を解決するには、社会の変化に流されて「とりあえず仕事がありそうだから都市部へ行ってみるか」という子を減らし、「様々な人と協力しながら、自分の夢中になれることに取り組み、自分の人生を自分で切り開いていく」という子を育てなければと考えました。

小学校時代に少しでも種をまけば、将来その種を咲かせる子もいるはずです。リモートでも仕事ができる現在、自分のふるさとで自分の夢をかなえることも不可能ではないと思うのです。